初期臨床研修のご案内

名古屋セントラル病院

東海旅客鉄道株式会社

医師としての価値を
大きく育む環境がここにあります。

MESSAGE FROM THE DIRECTOR

院長ごあいさつ

院長　中尾 昭公
（名古屋大学名誉教授）

当院は、名古屋鉄道病院、JR東海総合病院を前身に、長年にわたり名古屋市中村区を中心とした地域医療への貢献を果たしてきました。2006年夏には、198床全室個室の「名古屋セントラル病院」として現在地に新築・移転しました。2019年には創立100周年を迎え、これまで以上に地域の中核病院として信頼される病院を目指しています。

当院は多くの先進医療機器を備えており、各分野の専門医による安全で質の高い医療を提供できる体制を整えております。人間ドックも先進医療機器を活用し、充実したメニューやオプションを揃え、予防医療にも積極的に取り組んでおります。

また、二次救急病院として、地域の救急患者を積極的に受け入れております。従って、卒後臨床研修においても、地域医療機関の先生方の協力を得ながら、実践を重視した研修内容となっています。

安全、良質、快適、高度で先進的な患者満足にこだわる医療を提供し、地域の皆さまの期待にお応えできる病院を目指しています。

研修理念

1. 働きがいを実感し、自己研鑽に励む環境を提供する
2. 患者さんを中心に考えた急性期医療を実践できる医師を育成する

研修の基本方針

- 地域の皆さまから信頼され、地域医療に貢献できる医師を育成する。
- 医師、看護部門、医療技術部門などとの連携・協力によるチーム医療を実践しうるコミュニケーション能力を身に付けた医師を育成する。
- 救急医療および総合診療（初診外来）を通して、プライマリ・ケアを実践できる医師を育成する。
- 思いやりと誠実を持って患者およびその家族と向き合い、十分なインフォームド・コンセントを行い、その権利を重んずる姿勢を身に付けた医師を育成する。
- 質の高い医療が提供できるよう、生涯を通じて教育・学習を続け、高度の医療技術の修得に努める医師を育成する。

数字で見る

NCH
名古屋セントラル病院

2次救急

病床数 198床

医師数 59人

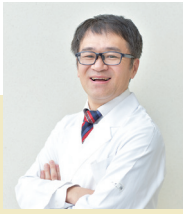
平均外来患者数 438名／日

平均入院患者数 176名／日

救急外来患者 8,148件／年
（うち時間外件数5,069件）

救急車搬送件数 4,542件／年
（うち時間外件数2,775件）

NAGOYA CENTRAL HOSPITAL



臨床研修推進室長
消化器内科　主任医長
吉村 透

当院は、先進医療機器を多数備え、高度で先進的な医療を提供しており、症例・研修内容いずれの面においても、有意義な研修が可能です。

また、中小規模総合病院ならではの横の連携が密な体制で、研修医一人ひとりの希望を加味しながら、幅広い診療科をローテートできます。

ローテートしている期間も診療科間の垣根を越えて、1つの症例を様々な角度から共有、検証し、各診療科の指導医が総力を挙げて研修医をサポートします。熱い想いをもった医学生の皆様をお待ちしています。

1 研修プログラム

》》 1年次

必修科目を中心に研修を行います。他の1年次研修医と重複しないようにローテーションを組むため、1つ1つの症例にしっかりと関わることができます。

》》 2年次

院外での研修、必須科目のスケジュール以外に、約7ヶ月間の自由選択期間があります。研修医一人ひとりの興味に沿い、専門性を伸ばします。

（1）一年次

一般目標“今後の臨床研修を円滑に行うために、基本的な知識・技術・態度を習得する”

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
必修科目を中心に内科・外科・救急科などを2～4週間程度でローテション											

（2）二年次

一般目標“臨床研修後の専門性を方向づけるために、多様で一歩進んだ研修を行う”

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
選択科目		精神科	小児科	産婦人科	救急	地域医療	選択科目				

※一、二年次ともに、並行研修として一般外来研修を行う。
※研修時期の一例です。研修医によって異なります。

連携病院・協力施設	■ 小児科・産婦人科：日本赤十字社愛知医療センター　名古屋第一病院　■ 精神科：愛知県精神医療センター ■ 地域医療：医療法人衆済会　増子記念病院、医療法人　細川外科クリニック、医療法人　古山医院、医療法人　斎藤外科、クリニックかけはし　等

2 安心の指導体制

中小規模の病院だからこそ、指導医や上級医との距離が近く、質問がしやすいため、安心して指導を受けられます。全ての医師が研修医の顔と名前を覚えており、こまめに声を掛けてくれます。加えて、病院全体でのコミュニケーションも活発で、相互に助け合い高め合っていくような、診療科・部門を超えての連携の強さも魅力の1つです。

3 充実の学習・生活環境

朝の時間を利用して、抄読会やミニレクチャー、カンファレンス等が頻繁に開催されており、学ぶ環境が整っています。また、名古屋駅から徒歩約10分という立地を活かし、学会や研究会等にも積極的に参加できます。

社宅・寮（個室イメージ）

4 飛躍の新専門医プログラム

当院は、日本専門医機構の認定する専門研修プログラムの連携施設として、後期臨床研修（専門研修）を受け入れています。当院にて2年間の初期臨床研修を修了した後、以下の基幹プログラムにお申込みいただいた場合は、引き続き当院にて、将来専門とする診療科および関連診療科・部門を中心に研修することができます。別の病院で初期臨床研修を修了した方も、以下の基幹プログラムに属する場合は当院での専門研修が可能です。連携施設として、皆さんの豊かなキャリア形成を支援します。

診療分野	基幹プログラム
内　　科	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院　内科専門研修プログラム
	中部ろうさい病院　内科専門研修プログラム
	国立病院機構名古屋医療センター　内科専門研修プログラム
	中東遠総合医療センター　内科専門研修プログラム
	名古屋市立大学病院　内科専門研修プログラム
外　　科	名古屋大学医学部附属病院　外科専門研修プログラム
	名古屋医療センター　外科専門研修プログラム
	公立陶生病院　外科専門研修プログラム
	一宮市立市民病院　外科専門研修プログラム

診療分野	基幹プログラム
整形外科	名整会　整形外科専門研修プログラム
	名整会関連地域　整形外科専門研修プログラム
脳神経外科	脳神経外科専門研修名古屋大学医学部プログラム
泌尿器科	三重大学　泌尿器科専門研修プログラム
眼　　科	名古屋大学　眼科研修プログラム
耳鼻いんこう科	名古屋大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科専門研修プログラム
放射線科	藤田医科大学病院　放射線科領域専門研修プログラム
麻 酔 科	名古屋大学医学部附属病院　麻酔科専門医研修プログラム

現役研修医に聞いたQ&A

Q. **名古屋セントラル病院の初期臨床研修プログラムの特徴となるポイントを教えてください。**

A. 基本的に一つの診療科に一人の研修医がローテします。
そのため、同期の研修医とローテが被らないため、手技の経験不足等も起こりにくく、
より実践的に学ぶことが出来ます。
また、上級医の先生方に直接指導してもらえるため、数多くの手技を経験することで
正しい知識を身に付けることができます。

Q. **外部の病院でのローテはありますか。**

A. あります。産婦人科、小児科、精神科、地域医療については、
2年次に外部の連携病院や協力施設で研修を行います。

Q. **研修医室はありますか。**

A. ありません。医局の中に自分の机は貸与されます。

Q. **図書室はありますか。**

A. あります。自由に使用することができます。

Q. **食堂はありますか。**

A. ありません。院内に、コーヒーショップがあるほか、
コンビニやお弁当の販売があります。

□ 診療科目

呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、
消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科

□ 病床数

198床

□ 救急体制

名古屋市第二次救急医療病院

□ 沿革

1919年　名古屋鉄道治療所として開設
1987年　JR東海附属名古屋鉄道病院
1989年　JR東海総合病院発足
2006年　名古屋セントラル病院として新築移転

[見学のご案内]

メールで受け付けております。
見学希望日の2週間前までにお申し込みください
※詳しくは、当院ホームページをご参照ください。

お問い合わせ

〒453-0801　名古屋市中村区太閤三丁目7番7号
東海旅客鉄道株式会社　名古屋セントラル病院　事務部（採用担当まで）　代表 TEL/052-452-3165　Mail/hospital.saiyo@jr-central.co.jp
アクセス／JR名古屋駅（太閤通口）から徒歩約10分　近鉄米野駅から徒歩約7分　あおなみ線ささしまライブ駅から徒歩約8分

※掲載の情報は、2025年4月現在のものです。